

拠出金名：日本・ASEAN金融技術支援基金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				714,097千円	
国際機関等名	東南アジア諸国連合 (英文名称・略称) Association of Southeast Asian Nations (ASEAN)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	財務省国際局地域協力課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成19年度	324,220				100
平成18年度	405,040				100
平成17年度	453,252				100
当該拠出金の目的・用途等	ASEAN+3地域の金融安定化や金融協力の推進				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2007年のもの)				国際機関等の財政 (2006年度決算)	
	国名	金額 (千ドル)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入 405,040千円	
1位	日本	324,220	100.0	当該年度の支出 229,745千円	
2位				次年度への繰越 175,295千円	
3位				会計検査機関名	
4位				Grant Thornton Hendrawinata	
5位					
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
<p>アジア通貨危機・経済危機の再発防止を図ること、及びASEAN+3の枠組みにおける域内通貨金融協力の促進を目的として、平成13年度に同基金を創設した。</p> <p>これまで資本フローのモニタリング強化、マクロ経済統計支援整備、及び債券市場育成に向けた技術支援に加え、東アジアにおける危機に対する国境を越えた資本移動の自由化と効果的な制度アレンジメントに係る研究、及び域内金融市場の自由化と資本市場の発展に向けての政策処置の域内協調に係る研究について資金支援を実施している。主な受益国であるASEAN諸国から同基金の貢献について高い評価を得ている。このように同基金はその設立目的に対して効果的な活動が行われており、今後も重要な役割を果たしていくものと思われる。</p>					
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。</p> <p>行われている場合はその現状と我が国としての評価</p>					
<p>前年度の活動内容に係る評価に基づき、我が国(財務省)とASEAN事務局との協議により年間活動計画を策定しており、実施段階においても活動報告書の作成に加え、必要に応じて随時プログラムのモニタリング、評価及び見直しを実施している。</p>					

「邦人職員数うち幹部以上」以下の項目については、「日・ASEAN統合基金(JAIF)」の頁(36ページ)参照。

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。
(参考) この機関には財務省の他、外務省および農林水産省予算から拠出している。